コロンビア経済（２０１４年４月）

【ポイント】

●IMFは2014年及び2015年の経済成長率を＋4.5％と予測した。

●25日，中銀は政策金利を0.25％引き上げ，3.5％とした。

●憲法裁判所は，太平洋同盟の枠組協定を承認した政令2013年第1628号に対して違憲の判断を下した。

【本文】

１　主な出来事

＜国内情勢＞

（１）経済見通し：IMF（9日，当地紙報道）

　IMFはコロンビアの2014年及び2015年の経済成長率を＋4.5％と予測した。

（２）政策金利（26日，当地紙報道）

　25日，中銀は国内経済が好調と判断し，政策金利を0.25％引き上げ，3.5％とした。

（３）対外債務（4日，当地紙報道）

　中銀は，2013年末時点の対外債務が918.79億ドルとなり，前年同期比で131.16億ドル増加したと発表した。

（４）対内直接投資（12日，当地紙報道）

　中銀は，2014年第1四半期の対内直接投資（速報値）が36.24億ドルで，前年同期比5.1％減少したと発表した。

（５）インフラ

（ア）交通インフラ予算状況（7日，当地紙報道）

　DNP(国家企画庁)長官は，直近4年間で交通インフラ予算額が2倍となり，2014年は39.21億ドルとなった，また，予算消化率も72％から92％に増加したと発表した。

（イ）ボゴタ市地下鉄計画（1日，当地紙報道）

　3月31日，第2回ボゴタ市地下鉄計画セミナーにおいて，政府が本計画にかかる予算（3億ドル）の70％，ボゴタ市が30％を負担することを約束した。建設着工は2015年後半であり，工期は5年を予定している。

（６）企業動向：DRUMMOND社（1日，当地紙報道）

　1月13日から石炭の輸出を停止していたDRUMMOND社は，環境許認可庁の要請を満たしたため，3月31日に輸出を再開した。ドラモンド港の拡張整備事業は8月に完成予定であり，石炭輸出量は3,000万トン／年から6,000万トン／年に倍増する見込みである。

＜対外経済関係＞

（１）対米FTA関連（2日及び7日，当地紙報道）

　商工観光相は，対米FTAの発効から現在に至るまで，農業分野及び農業関係者に悪影響が及んでいない旨述べた。

　労働省は，対米FTA発効後，正規労働者数が2％増加した旨の統計を発表した。

（２）対コスタリカFTA関連（9日，当地紙報道）

　第1回目の国会審議が行われ，上院第2委員会は対コスタリカFTAを承認した。

（３）太平洋同盟関係（25日，当地紙報道）

　憲法裁判所は，太平洋同盟の枠組協定を承認した政令2013年第1628号について，政府が国会に提出した書類に不備があったため，違憲の判断を下した。これを受けて，商工観光相は，政府は国会に新法案を提出する旨述べた。

＜経済指標＞

（１）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

　2月の実質工業生産指数（コーヒー豆加工を除く）は前年同月比＋2.8％であった。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

　2月の実質小売売上高指数は前年同月比＋6.7％であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

　3月の消費者信頼感指数（ICC）は，17.5％と前月（15.7％）を1.8％ポイント改善した。　一方，前年同月比では2.7％ポイント改善した。

（２）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

　3月の石油生産量は日量97.7万バレルであり，前年同月比▲3.55％となった。100万バレルを下回るのは2013年10月以来5ヶ月ぶりである。

（イ）コーヒー

（ⅰ）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

　FNC加盟コーヒー生産者による3月のコーヒー生産量は82.8万袋（1袋＝60kg）となり，前年同月比で＋34.0％と大幅に増加した。

（ⅱ）価格（国際コーヒー機関発表）

　4月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド＝2.21ドル（前月は同2.11ドル，前年同月は同1.58ドル）であった。

（３）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

　3月の消費者物価上昇率は＋2.51％（前年同月比，以下同），生産者物価上昇率は＋1.71％であった。

（イ）雇用

　3月の全国平均失業率は9.7％と，前年同月の10.2％より0.5ポイント改善した。また，主要13都市の平均失業率も10.5％と，前年同月の11.6％より1.1ポイント改善した。

（４）貿易収支（DANE発表）

　2月の貿易収支（FOB）は，5.06億ドルの赤字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比▲8.5％の42.71億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比＋11.3％の50.04億ドルとなった。（了）